

学校コード F101310100285
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

認可

注2
北翔大学大学院 生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻 博士後期課程

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 北翔大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部総務課
職名・氏名	カチョウ オガワ ミカ 課長 小川 美夏
電話番号	011-386-8011
(夜間)	011-386-8211
e-mail	soumu@hokusho-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

生涯スポーツ学研究科

＜生涯スポーツ学専攻 博士後期課程＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15
8. 添付書類	「北翔大学 FD規程」
	資料1 開設記念シンポジウム案内
	資料2 大学ホームページ
	資料3 広告

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人北翔大学

(2) 大 学 名
北翔大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒069-8511
北海道江別市文京台23番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アオキ ジロウ) 青木 次郎 (平成29年6月1日)		
学 長	(ヤマヤ ケイザブロウ) 山谷 敬三郎 (平成30年2月11日)	(平成30年2月11日) (3) (令和4年2月11日) (4)	学長再任のため (4)
研究科長	(カワニシ マサシ) 川西 正志 (令和3年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
- (例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻 (博士後期課程) 博士(スポーツ科学)	体育関係	3年	3人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 人	9人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「ー」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成3 0 年度		令和元年度		令和2 年度		令和3 年度		令和4 年度		令和5 年度		平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	3人	一人	3人	一人	3人	一人	1 倍	一 倍	1 倍	一 倍	
	() []		() []		() []		(—) [—]		(—) [—]		(—) [—]						
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 [—]	— [—]	4 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 [—]	— [—]	4 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]	3 [—]	— [—]					
入学定員超過率 B／A																	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「ー」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「ー」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「ー」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成3 0年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考				
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [ー] (ー)	— [ー] ()	3 [ー] (ー)	— [ー] (ー)	3 [ー] (ー)	— [ー] (ー)					
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[ー] (ー)	[ー] (ー)	3 [ー] (ー)	— [ー] (ー)					
3 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		[ー] (ー)	[ー] (ー)		
4 年次											[] ()	[] ()		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計											[] ()			[] ()		[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	3 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	6 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	9 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜生涯スポーツ学研究科生涯スポーツ学専攻（D）＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	Sports Academic English		1前	2								1
	小計(1科目)		－	2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門 科目	スポーツ 科学研究 分野	スポーツ医科学特殊研究	1前									
		スポーツ生理学特殊研究										
		スポーツバイオメカニクス特殊研究			2		1					
		アスレティックリハビリテーション特殊研究										
		スポーツ栄養学特殊研究	1後		2			1	1			
		スポーツ心理学特殊研究										
	小計(6科目)		－	0	12	0	3	0	3	0	0	0
	生涯 スポーツ 学研究 分野	生涯スポーツ学特殊研究	1前		2		1					
		スポーツ老年学特殊研究	1前		2		1					
		休養・睡眠学特殊研究	1前		2		1					
		健康運動科学特殊研究	1前		2				1			
		アクアフィットネス特殊研究	1前		2			1				
		冬季スポーツ指導特殊研究	1前		2		1					
		小計(6科目)		－	0	12	0	4	1	1	0	0
研究 指導	特別研究指導Ⅰ	1通	4			7		1				
	特別研究指導Ⅱ	2通	4			7		1				
	特別研究指導Ⅲ	3通	4			7		1				
	小計(3科目)		－	12	0	0	7	0	1	0	0	0
合計(16科目)			－	14	24	0	7	1	4	0	0	1
卒業要件及び履修方法												
必修科目4科目14単位、選択科目から1科目2単位以上、 合計16単位以上を修得し、博士論文の審査に合格すること。												

【令和５年度】

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	Sports Academic English		1前	2								1
	小計(1科目)			2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門 科目	スポーツ 科学研究 分野	スポーツ医科学特殊研究	1前		2		1					
		スポーツ生理学特殊研究	1前		2		1					
		スポーツバイオメカニクス特殊研究	1前		2		1					
		アスレティックリハビリテーション特殊研究	1前		2			1				
		スポーツ栄養学特殊研究	1後		2			1				
		スポーツ心理学特殊研究	1前		2			1				
		小計(6科目)	－	0	12	0	3	0	3	0	0	0
	生涯ス ポーツ 学研究 分野	生涯スポーツ学特殊研究	1前		2		1					
		スポーツ老年学特殊研究	1前		2		1					
		休養・睡眠学特殊研究	1前		2		1					
		健康運動科学特殊研究	1前		2				1			
		アクアフィットネス特殊研究	1前		2			1				
		冬季スポーツ指導特殊研究	1前		2		1					
	小計(6科目)		－	0	12	0	4	1	1	0	0	0
研究 指導	特別研究指導Ⅰ	1通	4			7		1				
	特別研究指導Ⅱ	2通	4			7		1				
	特別研究指導Ⅲ	3通	4			7		1				
	小計(3科目)	－	12	0	0	7	0	1	0	0	0	
合計(16科目)			－	14	24	0	7	1	4	0	0	1
卒業要件及び履修方法												
必修科目4科目14単位、選択科目から1科目2単位以上、 合計16単位以上を修得し、博士論文の審査に合格すること。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	Sports Academic English	1前	2								1
	小計(1科目)	－	2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門科目	スポーツ科学研究分野	スポーツ医科学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツ生理学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツバイオメカニクス特殊研究	1前	2		1					
		アスレティックリハビリテーション特殊研究	1前	2				1			
		スポーツ栄養学特殊研究	1後	2				1			
		スポーツ心理学特殊研究	1前	2				1			
		小計(6科目)	－	0	12	0	3	0	3	0	0
	生涯スポーツ学研究分野	生涯スポーツ学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツ老年学特殊研究	1前	2		1					
		休養・睡眠学特殊研究	1前	2		1					
		健康運動科学特殊研究	1前	2				1			
		アクアフィットネス特殊研究	1前	2			1				
		冬季スポーツ指導特殊研究	1前	2		1					
	小計(6科目)	－	0	12	0	4	1	1	0	0	0
研究指導	特別研究指導Ⅰ	1通	4			7		1			
	特別研究指導Ⅱ	2通	4			7		1			
	特別研究指導Ⅲ	3通	4			7		1			
	小計(3科目)	－	12	0	0	7	0	1	0	0	0
合計(16科目)			－	14	24	0	7	1	4	0	1
卒業要件及び履修方法											
必修科目4科目14単位、選択科目から1科目2単位以上、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査に合格すること。											

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	Sports Academic English	1前	2								1
	小計(1科目)		2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門科目	スポーツ科学研究分野	スポーツ医科学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツ生理学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツバイオメカニクス特殊研究	1前	2		1					
		アスレティックリハビリテーション特殊研究	1前	2				1			
		スポーツ栄養学特殊研究	1後	2				1			
		スポーツ心理学特殊研究	1前	2				1			
		小計(6科目)	－	0	12	0	3	0	3	0	0
	生涯スポーツ学研究分野	生涯スポーツ学特殊研究	1前	2		1					
		スポーツ老年学特殊研究	1前	2		1					
		休養・睡眠学特殊研究	1前	2		1					
		健康運動科学特殊研究	1前	2				1			
		アクアフィットネス特殊研究	1前	2			1				
		冬季スポーツ指導特殊研究	1前	2		1					
	小計(6科目)	－	0	12	0	4	1	1	0	0	0
研究指導	特別研究指導Ⅰ	1通	4			7		1			
	特別研究指導Ⅱ	2通	4			7		1			
	特別研究指導Ⅲ	3通	4			7		1			
	小計(3科目)	－	12	0	0	7	0	1	0	0	0
合計(16科目)			－	14	24	0	7	1	4	0	1
卒業要件及び履修方法											
必修科目4科目14単位、選択科目から1科目2単位以上、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

特になし。

【令和5年度】

特になし。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
4 科目	12 科目	0 科目	16 科目	4 科目 []	12 科目 []	0 科目 []	16 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0}\%$$

数式が入力されています。

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北翔大学短期大学部 (必要面積 3,800㎡)と共用 北翔大学短期大学部 (必要面積 2,700㎡)と共用			
	校 舎 敷 地	2,375.00 ㎡	79,968.00 ㎡	0 ㎡	82,343.00 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	41,311.00 ㎡	0 ㎡	41,311.00 ㎡				
	小 計	2,375.00 ㎡	121,279.00 ㎡	0 ㎡	123,654.00 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	2,349.59 ㎡	0 ㎡	2,349.59 ㎡				
	合 計	2,375.00 ㎡	123,628.59 ㎡	0 ㎡	126,003.59 ㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北翔大学短期大学部 (必要面積 4,087.50㎡)と 共用 教員研究室移動に伴う 専用共用変更のため (R3) 教員研究室移動に伴う 共用する他の学校等の 専用共用変更のため (R5)				
	33,717.73 ㎡ 33,958.51 ㎡	18,104.08 ㎡ 17,914.83 ㎡ 17,970.71 ㎡	4,506.08 ㎡ 4,454.55 ㎡ 4,398.67 ㎡	56,327.89 ㎡					
	(33,717.73 ㎡) (33,958.51 ㎡)	(18,104.08 ㎡) (17,914.83 ㎡) (17,970.71 ㎡)	(4,506.08 ㎡) (4,454.55 ㎡) (4,398.67 ㎡)	(56,327.89 ㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	33室	46室	131室	7室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	生涯スポーツ学研究生涯スポーツ学専攻博士後期課程			12 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分を含む 図書の購入及び雑誌の 購読中止のため (R3) 図書の購入及び電子 ジャーナルのアクセス 可能タイトル数変動の ため (R4) 機械・器具購入のため (R4) 図書・視聴覚資料の購 入及び電子ジャーナル のアクセス可能タイト ル数変動のため (R5) 機械・器具数変動のた め (R5)
	生涯スポーツ学研究生 涯スポーツ学専攻 博士後期課程	216,207 [18,352] 221,021 [18,413] 222,842 [18,457] 224,738 [18,464]	9,311 [5,277] 9,218 [5,211] 9,295 [5,201] 9,303 [5,218]	6,456 [5,026] 6,492 [4,968] 6,494 [4,970] 6,561 [4,986]	10,791 11,007 11,043 11,102	484 486 517 473	— (—)		
		(216,207 [18,352]) (221,021 [18,413]) (222,842 [18,457]) (224,738 [18,464])	(9,311 [5,277]) (9,218 [5,211]) (9,295 [5,201]) (9,303 [5,218])	(6,456 [5,026]) (6,492 [4,968]) (6,494 [4,970]) (6,561 [4,986])	(10,791) (11,007) (11,043) (11,102)	(484) (486) 517 473			
		計	216,207 [18,352] 221,021 [18,413] 222,842 [18,457] 224,738 [18,464]	9,311 [5,277] 9,218 [5,211] 9,295 [5,201] 9,303 [5,218]	6,456 [5,026] 6,492 [4,968] 6,494 [4,970] 6,561 [4,986]	10,791 11,007 11,043 11,102		484 486 517 473	
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館書庫の移動に伴 う専用共用変更のため (R3) 大学全体 図書館書庫の移動に伴 う専用共用変更のため (R5)		
	2,319.33 ㎡ 2,300.2 ㎡ 2,279.95 ㎡		298		185,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,214.00 ㎡		陸上競技場1面、野球場1面		テニスコート5面、25Mプール				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等、共同研究費等は研究科単位での算出不能なため、学部との合計
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	6,406千円	8,390千円	6,406千円	
		共同研究費等	8,500千円	8,500千円	設備購入費	13,257千円	4,070千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コストを含む）を含む	
		820千円	620千円	620千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北 翔 大 学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	2	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
生涯スポーツ学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
スポーツ教育学科	4	220	3年次 ₁₅			1.14		1.09									
スポーツ教育学科	4	180	3年次 ₁₀	680	学士(スポーツ教育学)	1.26	－	1.18	－	－	平成21	北海道江別市文京台23番地	令和4年度から入学定員変更(170→180)				
健康福祉学科	4	40	3年次 ₅	230	学士(健康福祉学) 学士(介護福祉学)	0.85	－	0.77	－	－	平成26	同上	令和4年度から入学定員変更(65→40)				
教育文化学部	4	220	3年次 ₂₀			1.16	－	1.15	－	－							
教育学科	4	120	3年次 ₁₀	500	学士(教育学)	1.23	－	1.20	－	－	平成26	同上					
芸術学科	4	50	3年次 ₅	210	学士(芸術学)	1.03	－	1.07	－	－	平成26	同上					
心理カウンセリング学科	4	50	3年次 ₅	210	ナニ (心理カウンセリング)	1.15	－	1.12	－	－	平成26	同上					
人間福祉学研究科																	
人間福祉学専攻 (修士課程)	2	－	－	4	修士(人間福祉学)	－	－	－	－	－	平成13	同上	令和5年3月廃止				
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	4	－	8	修士(臨床心理学)	1.12	－	1.12	－	－	平成15	同上					
生涯学習学研究科																	
生涯学習学専攻 (修士課程)	2	6	－	12	修士(生涯学習学)	0.66	－	1.00	－	－	平成16	同上					
生涯スポーツ学研究科																	
生涯スポーツ学専攻 (修士課程)	2	6	－	12	修士(スポーツ科学)	0.66	－	0.75	－	－	平成25	同上					
大学全体	4 2		3年次 ₃₅	1830 32	－	－	－	－	－	－	－	－					

大 学 の 名 称	北翔大学短期大学部							平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	收容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	收容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	收容定員充足率	收容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
ライフデザイン学科	年	人	年次人	人	短期大学士(ライフデザイン学)	倍	—	—	—	—	平成15	北海道江別市文京台23番地	令和5年度入学生より学生募集停止		
こども学科	2	110	—	220	短期大学士(こども学)	0.71	—	0.84	—	—	平成17	同上			
大学全体	2	110	—	270	—	—	—	—	—	—	—	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「收容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の收容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33收容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「收容定員充足率（控除後）」には、「收容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「收容定員充足率」を記入してください。
なお、「收容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「收容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、收容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻（博士後期課程）＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和３年度】			【令和４年度】			【令和５年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	川 西 正 志 (68) ＜令和３年４月＞ 体育学修士	専	教授	川 西 正 志 (68) ＜令和３年４月＞ 体育学修士	専	教授	川 西 正 志 (69) ＜令和３年４月＞ 体育学修士	専	教授	川 西 正 志 (70) ＜令和３年４月＞ 体育学修士
		生涯スポーツ学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			生涯スポーツ学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			生涯スポーツ学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			生涯スポーツ学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	沖 田 孝一 (58) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	沖 田 孝一 (58) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	沖 田 孝一 (59) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	沖 田 孝一 (60) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		スポーツ医科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ医科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ医科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ医科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	竹 田 唯史 (55) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	竹 田 唯史 (55) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	竹 田 唯史 (56) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	竹 田 唯史 (57) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）
		冬季スポーツ指導特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			冬季スポーツ指導特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			冬季スポーツ指導特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			冬季スポーツ指導特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	井 出 幸二郎 (51) ＜令和３年４月＞ 博士(Zoophysiology and Biological Theory of Sports) (デ ン マ ー ク)	専	教授	井 出 幸二郎 (51) ＜令和３年４月＞ 博士(Zoophysiology and Biological Theory of Sports) (デ ン マ ー ク)	専	教授	井 出 幸二郎 (52) ＜令和３年４月＞ 博士(Zoophysiology and Biological Theory of Sports) (デ ン マ ー ク)	専	教授	井 出 幸二郎 (53) ＜令和３年４月＞ 博士(Zoophysiology and Biological Theory of Sports) (デ ン マ ー ク)
		スポーツ生理学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ生理学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ生理学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ生理学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	小坂井（シェイクスピア）留美 (49) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	小坂井（シェイクスピア）留美 (49) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	小坂井（シェイクスピア）留美 (50) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	教授	小坂井（シェイクスピア）留美 (51) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		スポーツ老年学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ老年学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ老年学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツ老年学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	花 井 篤子 (48) ＜令和３年４月＞ 博士（体育科学）	専	准教授	花 井 篤子 (48) ＜令和３年４月＞ 博士（体育科学）	専	准教授	花 井 篤子 (49) ＜令和３年４月＞ 博士（体育科学）	専	准教授	花 井 篤子 (50) ＜令和３年４月＞ 博士（体育科学）
		アクアフィットネス特殊研究			アクアフィットネス特殊研究			アクアフィットネス特殊研究			アクアフィットネス特殊研究
専	教授	小 田 史郎 (47) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	小 田 史郎 (47) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	小 田 史郎 (48) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	専	教授	小 田 史郎 (49) ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）
		休養・睡眠学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			休養・睡眠学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			休養・睡眠学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			休養・睡眠学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	山 本 敬三 (46) ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	専	教授	山 本 敬三 (46) ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	専	教授	山 本 敬三 (47) ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	専	教授	山 本 敬三 (48) ＜令和３年４月＞ 博士（工学）
		スポーツバイオメカニクス特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツバイオメカニクス特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツバイオメカニクス特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			スポーツバイオメカニクス特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	講師	吉 田 昌弘 (40) ＜令和３年４月＞ 博士(理学療法学)	専	講師	吉 田 昌弘 (40) ＜令和３年４月＞ 博士(理学療法学)	専	講師	吉 田 昌弘 (41) ＜令和３年４月＞ 博士(理学療法学)	専	講師	吉 田 昌弘 (42) ＜令和３年４月＞ 博士(理学療法学)
		アスレティックリハビリテーション特殊研究			アスレティックリハビリテーション特殊研究			アスレティックリハビリテーション特殊研究			アスレティックリハビリテーション特殊研究
専	講師	黒 田 裕太 (38) ＜令和３年４月＞ 博士(教育学)	専	講師	黒 田 裕太 (38) ＜令和３年４月＞ 博士(教育学)	専	講師	黒 田 裕太 (39) ＜令和３年４月＞ 博士(教育学)	専	講師	黒 田 裕太 (40) ＜令和３年４月＞ 博士(教育学)
		スポーツ栄養学特殊研究			スポーツ栄養学特殊研究			スポーツ栄養学特殊研究			スポーツ栄養学特殊研究
専	講師	高 田 真吾 (35) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	講師	高 田 真吾 (35) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	講師	高 田 真吾 (36) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	専	講師	高 田 真吾 (37) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）
		健康運動科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			健康運動科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			健康運動科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ			健康運動科学特殊研究 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	講師	畝 中 智志 (34) ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）	専	講師	畝 中 智志 (34) ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）	専	講師	畝 中 智志 (35) ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）	専	講師	畝 中 智志 (36) ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）
		スポーツ心理学特殊研究			スポーツ心理学特殊研究			スポーツ心理学特殊研究			スポーツ心理学特殊研究
兼任	講師	Christopher Blaine Simons (59) ＜令和３年４月＞ 学士(Bachelor of Arts) (米国)	兼任	講師	Christopher Blaine Simons (59) ＜令和３年４月＞ 学士(Bachelor of Arts) (米国)	兼任	講師	Christopher Blaine Simons (60) ＜令和３年４月＞ 学士(Bachelor of Arts) (米国)	兼任	講師	Christopher Blaine Simons (61) ＜令和３年４月＞ 学士(Bachelor of Arts) (米国)
		Sports Academic English			Sports Academic English			Sports Academic English			Sports Academic English

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上位に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）（

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

--

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

特になし

【令和4年度】

特になし

【令和5年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
●● 名	●● 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)	●● (●●)
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []	●● []

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

数式が入力されています。

現在（報告時）の完成年度時の状況（C）

設置時の計画（A）

=

●●

●●

=

#VALUE!

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成

数式が入力されています。

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

現在（報告時）の状況（B）

=

●●

●●

=

#VALUE!

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

数式が入力されています。

現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）

設置時の計画（A'）

=

●●

●●

=

-

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	0	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により
算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	1	4	0	12	0	7	1	4	0	12	0
(7)	(1)	(4)	(0)	(12)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
8	7	1	3			8	7	1	3		
(8)	(7)	(1)	(3)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	1	4	0	12	0	7	1	4	0	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
8	7	1	3			8	7	1	3		
[0]	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
●● 名	●● 名	●● 名

(注) ・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【専門職大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況									
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')				
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●				
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)										
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当 の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当 の教員数	
●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●	
(●●)		(●●)		(●●)		(●●)		(●●)		(●●)		(●●)		(●●)	
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画									
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')				
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●				
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]				
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当 の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当 の教員数	
●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●	
[]		[]		[]		[]		[]		[]		[]		[]	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C)
設置時の計画(A)

= $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = #VALUE! %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
現在（報告時）の状況(B)

= $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = #VALUE! %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C')
設置時の計画(A')

= $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = - %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要な 研究業績を有する実 務家教員数
●● 名	●● 名	●● 名	●● 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一イ(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一イ及び第三十六条、
専門職短期大学設置基準別表第一イ及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画について、()内に開
設時の教員数を記入してください。

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）						
専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数			専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数			専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
[]	[]	[]	[]			[]	[]	[]	[]		

設置時の計画との増減
数を[]内に記入してく
ださい。
(記入例:△1)

設置時の計画との増減
数を[]内に記入してく
ださい。
(記入例:△1)

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、
及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、
「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

数式が入力されています。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{\text{●●}}{\text{●●}} = \text{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

数式が入力されています。

(2)－⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{\text{●●}}{\text{●●}} = \text{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

数式が入力されています。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{\text{●●}}{\text{●●}} = \text{ - } \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

12

=

0

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	1. 氷雪寒冷圏域の生涯スポーツの深化・発展を果たすため、スポーツ動作の理論化や冬期スポーツを主とする競技スポーツの研究手法を身に付ける『スポーツ科学』と、氷雪寒冷圏域特有の健康問題や運動を制限する要因をふまえ、生涯スポーツ活動を推進する『生涯スポーツ学』の領域を設定する」という本課程における2つの研究分野の設定趣旨について、本学が掲げる「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野との関係も含めて、学内外に対して適切に周知徹底を図ること。	【認可】 遵守事項 本課程における2つの研究分野（「スポーツ科学」と「生涯スポーツ学」）の設定主旨について、「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野（「スポーツ科学」、「応用健康科学」、「スポーツ教育学」）との関係性を学内外に周知するために、「開設記念シンポジウム～北からのスポーツ科学のメッセージ～」を実施した（令和2年12月18日、対面・遠隔併用）。51名の参加者があり、本研究科の設置の趣旨、研究内容、修士課程との関係性について周知することができた。 また、新聞広告を3日間連続して実施し、本課程の開設について広く周知した。 さらに、本課程のパンフレット、大学ホームページ、学生便覧においても研究分野の設定趣旨について周知徹底を図っている。	履行中 令和3年12月に第2回開設記念シンポジウムを実施するとともに、研究活動・成果を学内外へ発表する機会を通じて、本研究科の目的、研究分野、修士課程との関係性などの周知徹底に努める。また、パンフレット、大学ホームページ、学生便覧等においても継続して周知徹底を図る。
認 可 時 (令和3年)	1. 氷雪寒冷圏域の生涯スポーツの深化・発展を果たすため、スポーツ動作の理論化や冬期スポーツを主とする競技スポーツの研究手法を身に付ける『スポーツ科学』と、氷雪寒冷圏域特有の健康問題や運動を制限する要因をふまえ、生涯スポーツ活動を推進する『生涯スポーツ学』の領域を設定する」という本課程における2つの研究分野の設定趣旨について、本学が掲げる「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野との関係も含めて、学内外に対して適切に周知徹底を図ること。	【認可】 遵守事項 「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野との関係も含めて、学内外に対して適切に周知徹底を図るために、「開設記念シンポジウム（第2回）」を令和4年3月4日に実施した（対面・遠隔併用）。45名の参加者があり、本研究科の設置の趣旨、研究内容、修士課程との関係性について周知することができた。 また、「日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会（令和3年9月7日～9日、筑波大学、オンライン）」のプログラム広告を掲載した。	履行中 令和4年度にも第3回開設記念シンポジウムを実施するとともに、研究活動・成果を学内外へ発表する機会を通じて、本研究科の目的、研究分野、修士課程との関係性などの周知徹底に努める。また、パンフレット、大学ホームページ、学生便覧等においても継続して周知徹底を図る。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	北翔大学の既設学科等（生涯スポーツ学部スポーツ教育学科）の入学定員超過の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (是正) 生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の入学定員を、令和4年度入学生から180名に増加させた。その結果、令和4年度の入学生は、186名となり、入学定員超過率は、1.03倍へと改善された。	履行済

設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	1. 氷雪寒冷圏域の生涯スポーツの深化・発展を果たすため、スポーツ動作の理論化や冬期スポーツを主とする競技スポーツの研究手法を身に付ける『スポーツ科学』と、氷雪寒冷圏域特有の健康問題や運動を制限する要因をふまえ、生涯スポーツ活動を推進する『生涯スポーツ学』の領域を設定する」という本課程における2つの研究分野の設定趣旨について、本学が掲げる「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野との関係も含めて、学内外に対して適切に周知徹底を図ること。	【認可】 遵守事項	「生涯スポーツ学」や修士課程における3つの研究分野との関係も含めて、学内外に対して適切に周知徹底を図るために、「開設記念シンポジウム（第3回）」を令和5年3月3日に実施した（対面・遠隔併用）。43名の参加者があり、本研究科の設置の趣旨、研究内容、修士課程との関係性について周知することができた。 また、「日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会（令和4年8月31日～9月2日、順天堂大学）」のプログラム広告を掲載した。	履行済	
---------------------------------	--	--------------	--	-----	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻 博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等「該当なし」

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD支援委員会を設置している (関連規程 「FD規程」「教育支援総合センター規程」「運営企画会議規程」) b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) FD支援委員会 年間12回開催 構成員は、教員6名、職員1名 c 委員会の審議事項等 ・授業評価の実施に関する事項 ・教授方法等の改善のための支援に関する事項 ・FD推進・啓発を目的とした講演会、教職員研修会に関する事項 ・その他FDに関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) 令和4年度実績 (1) 第1回FD/SD研修会 令和4年4月15日開催 本学新任教員に向けて研修会を開催 本学の沿革と大学を取り巻く状況、本学の教育課程と授業、FD活動について説明 参加者数8名 (全て教員) (2) 第2回FD/SD研修会 令和4年5月31日開催 本学「545情報スタジオ」「740情報スタジオ」各ICT教室のリニューアルに伴い、電子黒板やモバイルPCなど実機を用いてICT機器の活用方法説明会を開催 参加者数41名 (うち教員26名) (3) 第3回FD/SD研修会 令和5年3月14日開催 「障害者差別解消法」の改正に伴う本学に沿った説明会を開催 改正障害者差別解消法の説明、障がい学生支援の現状、配慮が必要な学生への対応例、について説明

参加者52名（うち教員38名）

（４）ICT相談会

週２回程度（１回当たりおおよそ20分～60分程度）、令和４年度は84回開催

ICTに関する質疑応答／新技術紹介やアドバイスなど相談会をオンライン開催

※教職員自由参加

（５）その他

・江別４大学合同FD・SDフォーラム 「ICTを用いた授業運営、大学事務の今後の在り方について」

令和４年９月12日 オンライン開催

本学FD支援委員長が事例発表報告

※教職員自由視聴

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育を取り巻くICT動向や事例などを共有し、参加者自身の「新技術への気づき」

「スキル向上」を促進し、以て合理的/効果的な授業改善が期待できる。

遠隔授業の多様化に伴い、低難易度から幅広く研修会を継続開催する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和４年度 前期、後期の２回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施したアンケートを結果を取り纏め、研究科にフィードバックして検討

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(令和2年)

本研究科においては、「北海道をはじめ氷雪寒冷圏域における豊かな生涯スポーツ社会の発展に向けて、スポーツ科学・生涯スポーツ学に関する高度な専門的知識を修得し、課題設定能力、科学的分析能力、情報発信能力を備えた研究者及び高度職業人の養成」を目的としている。教育課程は、スポーツ動作の理論化や冬季スポーツを主とする競技スポーツの研究手法を身に付ける「スポーツ科学」と、氷雪寒冷圏域特有の健康問題や運動を制限する要因をふまえ、生涯スポーツ活動を推進する「生涯スポーツ学」の2研究分野からなる。

開設に向けて、院生研究室の設置、研究機器・備品の整備、教育課程（授業科目）の開設など、申請通りに実施した。入学者選抜では、定員3名に対し4名の受験者があり、アドミッション・ポリシーに基づき、3名を合格とした。

令和3年度の入学者の研究内容は、「冬季スポーツにおけるモーグルスキー競技の技術分析に関する研究」、「高齢者の健康運動の行動変容とQOL向上に関する研究」、「高齢者の栄養・運動実施に関する研究」であり、本研究科の目的とする冬季スポーツの競技力向上や高齢者の健康問題・QOL向上に合致する内容となっている。

以上のように設置認可申請とおりに適正に運営することができている。

(令和3年)

令和3年4月に博士後期課程の第1期生となる新入生3名が入学し、計画していた教育・研究活動を開始することができた。4月にオリエンテーションを実施し、教育課程、履修方法、博士論文完成までのプロセスなどを説明した。入学生は修了までの過程について理解し、指導教員・副指導教員を決定した。

特別研究指導Ⅰ（博士論文指導）において、指導教員を中心として研究計画の立案・先行研究の検討・実験計画を行った。令和3年10月16日（土）には、修士課程と合同で、研究進捗状況報告会を実施した。3名の研究テーマは、「女性高齢者の貯筋運動教室終了後の運動行動変容」、「高齢者における栄養評価指標と健康・体力指標の関連」、「モーグルスキー競技におけるエア・テイクオフ動作の運動学的特徴」であり、本研究科の目的とする冬季スポーツの競技力向上や高齢者の健康問題・QOL向上に合致する内容となっている。

令和4年度入試については、4名が受験し、定員数の3名を合格とした。

以上のように設置認可申請とおりに適正に運営することができている。

(令和4年)

令和4年4月に博士後期課程の第2期生となる新入生3名が入学し、計画していた教育・研究活動を開始することができた。4月にオリエンテーションを実施し、教育課程、履修方法、博士論文完成までのプロセスなどを説明した。入学生は修了までの過程について理解し、指導教員・副指導教員を決定した。

特別研究指導Ⅰ（博士論文指導）において、指導教員を中心として研究計画の立案・先行研究の検討・実験計画を行った。令和4年10月15日（土）には、修士課程と合同で、「研究進捗状況報告会」を実施した。新入生3名の研究テーマは、「マーカーレスモーションキャプチャーによる氷雪寒冷圏域在住高齢者の歩行分析」、「old way/new way（新旧対照法）を用いたスポーツスキル修正プログラムの開発ー自己調整学習理論を基にー」、「ソフトテニス指導者のコーチングスタイルと部活動指導ビジョンに関する研究」であり、本研究科の目的とする冬季スポーツの競技力向上、高齢者の健康問題・QOL向上、生涯スポーツ分野に合致する内容となっている。

令和5年度入試については、3名が受験し、定員数の3名を合格とした。

以上のように設置認可申請とおりに適正に運営することができている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・令和5年8月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

記入例)

・令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

北翔大学 F D 規程

(趣旨)

第1条 この規程は、北翔大学学則第43条の2第2項、北翔大学大学院学則第41条の2第2項及び北翔大学短期大学部学則第40条の3第2項の規定に基づき、北翔大学、北翔大学大学院及び北翔大学短期大学部（以下「本学」という。）の授業の内容及び方法の改善を図るため、全学的な研修及び研究（以下「F D」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(F D活動)

第2条 本学は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる活動を行うものとする。

- (1) 教員の教育能力向上のための教育技術の開発・向上、授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (2) 教育課程の開発・向上のための授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (3) 教育目的を達成するための教員組織、単位制、クラス編成、修学及び生活指導体制並びに施設向上のための活動
- (4) F D推進・啓発を目的とした活動

(F D活動の実施方針)

第3条 運営企画会議は、前条に定めるF D活動の実施方針を決定するため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のため基本方針及び実施体制に関する事項
- (2) 授業評価の実施に関する事項
- (3) 教授方法等の改善のための支援に関する事項
- (4) F D推進・啓発を目的とした講演会、教職員研修会に関する事項
- (5) その他F Dに関する事項

2 前項で審議された事項の実施については、学長がこれを決定する。

(F D支援オフィス及びF D支援委員会)

第4条 F D支援オフィスは、前条により決定したF D諸活動実施方針に基づき、具体的な実施計画を企画・立案し、F D支援委員会の議を経て、これを実施する。

2 F D支援オフィス及びF D支援委員会の必要な事項については、北翔大学教育支援総合センター規程の定めによる。

(活動報告)

第5条 F D支援委員会は、F D活動の実施状況について運営企画会議に報告するものとする。

(結果の公表)

第6条 F D支援委員会は、F D活動の実施結果について、可能な限り公表するとともに、広く閲覧に供するものとする。

(結果の活用)

第7条 各学部等の長並びに構成員は、FD活動の結果を真摯に受け止め、第2条各号に掲げる諸活動の更なる活性化、及び教育の質の向上に努めるとともに、改善が必要と認められる事項については、自ら改善に努めなければならない。

2 学長は、FD活動の実施結果に基づき、組織的に改善することが必要と認められる事項については、各学部等の長並びに構成員に対し改善を勧告するとともに、必要に応じて改善策の検討を指示することができる。

(改正)

第8条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成16年7月6日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則（校名変更及び機構改正に伴う改正）

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（校名変更及び組織の変更に伴う改正）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（組織の変更に伴う改正）

この規程は、平成21年5月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成22年8月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年8月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年8月1日から施行する。

附 則（運営企画会議規程の改正に伴う改正）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

北翔大学大学院 生涯スポーツ学研究科
生涯スポーツ学専攻 博士後期課程

開設記念シンポジウム

～北からのスポーツ科学のメッセージ～

吉田 昌弘 准教授

「アスレティックトレーニング学に関わるデータ活用の現状と展望」

小田 史郎 教授

「運動と睡眠の研究からわかった両者の関係性」

沖田 孝一 教授

「健康・スポーツ分野における研究 ～世界に通用するテーマを～」



令和5年3月3日（金）16:00-17:30
北方圏生涯スポーツ研究センター 6階

北海道唯一「博士（スポーツ科学）」を取得できる博士後期課程 令和3年4月開設

 北翔大学大学院

TEL:011-387-3939

mail:hokushokouza@hokusho-u.ac.jp

北翔大学大学院生涯スポーツ学研究科生涯スポーツ学専攻 博士後期課程 開設記念シンポジウム（第3回）

北翔大学大学院生涯スポーツ学研究科では、令和3年4月に東北以北では初、北海道唯一の「博士（スポーツ科学）」の学位を取得できる博士後期課程を開設しました。昨年に引き続き、開設記念シンポジウムを開催いたします。多くの方の聴講をお待ちしております。

1. 日時：令和5年3月3日（金）16時～17時30分

対象：インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンをお持ちの方

（通信料はご負担ください。パソコンにカメラやマイクがなくてもご視聴いただけます。）

形態：リモートオンライン（ZOOM）により参加となります。

2. 参加方法

URL（下）もしくはQRコード（右）から、ZOOMに参加ください。

URL：<https://bit.ly/3XZ50WN>

お問い合わせ先：電話 011-387-3939（平日 9:00-17:00）



3. 日程概要

16:00 開会のことば（川西正志 研究科長）

16:05 シンポジスト 吉田昌弘 准教授（20分）

「アスレティックトレーニング学に関わるデータ活用の現状と展望」

16:25 シンポジスト 小田史郎 教授（20分）

「運動と睡眠の研究からわかった両者の関係性」

16:45 シンポジスト 沖田孝一 教授（35分）

「健康・スポーツ分野における研究 ～世界に通用するテーマを～」

17:20 質疑応答（10分）

17:30 閉会のことば（竹田唯史 教授）

シンポジスト紹介

教授*

教授*

講師



沖田 孝一

OKITA Koichi
博士（医学）

研究テーマ/スポーツにおける回復力、疲労耐性や運動能力向上に関する研究
社会活動/日本スポーツ協会認定スポーツドクターとして北海道民のメディカルチェックやエリート競技者を育成



小田 史郎

ODA Shiro
博士（教育学）

研究テーマ/良好な睡眠を維持・改善するための運動や生活行動に関する研究
社会活動/日本睡眠学会会員、日本体力医学会会員、日本認知症予防学会代議員



吉田 昌弘

YOSHIDA Masahiro
博士（理学療法学）

研究テーマ/スポーツ外傷・傷害から安全に競技復帰するための評価手法の考案
社会活動/日本アスレティックトレーニング学会、日本臨床スポーツ医学会、日本スケート連盟ショートトラック医科学スタッフ（トレーナー）



北翔大学大学院 生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻

〒069-8511 北海道江別市文京台23番地 TEL.011-386-8011(代)/FAX.011-387-3739 info@hokusho-u.ac.jp

最新のエントリー

アーカイブ

新着情報

大学からのお知らせ

[新型コロナウイルス感染症対策](#)
[図書館ニュース](#)
[札幌円山キャンパスニュース](#)
[臨床心理センターニュース](#)
[教育支援総合センターニュース](#)
[教職センターニュース](#)
[地域連携センターニュース](#)
[学生相談室ニュース](#)
[保健センターニュース](#)
[特別サポートルームニュース](#)
[国際交流ニュース](#)

学生の活躍

入試情報

生涯スポーツ学部

[生涯スポーツ学部](#)
[スポーツ教育学科](#)
[健康福祉学科](#)

教育文化学部

[教育文化学部](#)
[教育学科](#)
[芸術学科](#)
[心理カウンセリング学科](#)

短期大学部

[短期大学部](#)
[ライフデザイン学科](#)
[こども学科](#)

大学院

[大学院](#)
[人間福祉学研究科](#)
[生涯学習学研究科](#)
[生涯スポーツ学研究科](#)

研究関連情報

[論文・著書](#)
[研究成果](#)

社会連携・生涯学習

[報道](#)

生涯スポーツ学研究科 新着情報

大学院生涯スポーツ学研究科生涯スポーツ学専攻 博士後期課程のR4年度開設記念シンポジウムの開催

2023.04.07 生涯スポーツ学研究科

令和5年3月3日（金）16時～17時30分まで、「大学院生涯スポーツ学研究科生涯スポーツ学専攻 博士後期課程のR4年度開設記念シンポジウム」が開催されました。



当該大学院は、令和3年4月に開設することが、R2年10月23日に文部科学省から認可され、その開設を記念するシンポジウムを開催しました。感染防止対策を徹底し、外部からの対面参加が15名、リモートには、28名の参加がありました。以下の3名のシンポジストによる発表が行われ、「アスレティックトレーニング学」や「睡眠と運動」、「エビデンス構築のための大規模研究と酸素利用能」について紹介されました。

吉田昌弘 准教授 「アスレティックトレーニング学に関わるデータ活用の現状と展望」

<https://www.youtube.com/watch?v=NUekzvQJDmQ>



小田史郎 教授 「運動と睡眠の研究からわかった両者の関係性」



沖田孝一 教授 「健康・スポーツ分野における研究 ～世界に通用するテーマを～」



尚、博士課程開設記念シンポジウムは来年度（令和5年度）も実施予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

(資料2 ホームページ)

生涯スポーツ研究科
研究科長 川西正志
(文責：高田真吾)

戻る



Copyright ©2013 by Hokusho-u.ac.jp All right reserved.

▲ Back to Top

[サイトマップ](#) [アクセスガイド](#) [お問い合わせ](#) [関連サイト](#) [プライバシーポリシー](#)

新着情報

最新順
大学からのお知らせ
学生の活躍
入試情報
生涯スポーツ学部
教育文化学部
短期大学部
大学院
社会連携・生涯学習

本学について

学長挨拶
大学名称について
法人情報
沿革
寄付金について
北翔大学同窓会
大学広報誌 [pal]
情報の公表
情報の公表 (教職課程)
情報の公表 (介護福祉士養成課程)
学則
教職員募集
北翔大学学術リポジトリ

学部・大学院

学部・大学院・短大一覧

学生生活

イベント・行事
キャンパスガイド
クラブ・サークル
教育支援総合センター
教職センター
資格取得・ボランティア
学生相談室
保健センター
スポーツ科学センター/スポーツ支
援室
オフィスアワー
特別サポートルーム
図書館
学費等納付金

就職・進路

キャリア支援センター
利用案内
サポートシステム
サポートスケジュール
就職・進路データ
キャリア支援センター
ニュース
学内会社説明会

社会連携・生涯学習

オンライン教養講座
公開講座
生涯学習
ボランティア
高大連携
地域まるごと元気アッププログラム
産業界ニーズ事業
北方圏学術情報センター/札幌円山
キャンパス
北方圏生涯スポーツ研究所
スポルクラブ
出張講義
大規模自然災害に伴う北翔大学入学
希望者への就学支援について
保育士資格取得特例講座

総合案内

在学生の方へ
卒業生の方へ
受験生の方へ
保護者の方へ
企業の方へ

Language

English (英語)
Korean (韓国語)
Chinese Big5 (繁体語中国語)
Chinese GB (簡体語中国語)

Language [English](#) [Korean](#) [Chinese Big5](#) [Chinese GB](#)

[総合案内](#) [在学生の方へ](#) [卒業生の方へ](#) [受験生の方へ](#) [保護者の方へ](#) [企業の方へ](#)

[サイトマップ](#) [アクセスガイド](#) [お問い合わせ](#) [関連サイト](#) [プライバシーポリシー](#)



〒069-8511
北海道江別市文京台23番地
TEL 011-386-8011 (代)
FAX 011-387-3739
www.hokusho-u.ac.jp
info@hokusho-u.ac.jp

北翔大学大学院

生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻

～北海道唯一「博士（スポーツ科学）」の学位を取得できる博士後期課程～

修士課程

学位：修士（スポーツ科学）定員6名

博士後期課程（令和3年4月開設）

学位：博士（スポーツ科学）定員3名

研究分野：スポーツ科学

生涯スポーツ学

入学試験

（インターネット出願）

出願

令和4年9/21（火）～10/12（火）
令和5年1/24（月）～2/15（火）

試験日

令和4年10/24（日）
令和5年 2/27（日）

北翔大学

〒069-8511 北海道江別市文京台23番地
TEL.011-386-8011(代) / info@hokusho-u.ac.jp

資料請求はコチラ



研究調査

運動・スポーツを
よく行う子どもほど、
抑うつ症状が少ない傾向



子ども・青少年のスポーツライフ・データ2021

検索



最新号発売中!



子ども・青少年のスポーツライフ・データ2021

新型コロナウイルス感染症の影響と子ども・青少年の運動・スポーツ
4,180円（本体3,800円＋税10%）224ページ/A4判

最新調査結果

- 4～11歳の過去1年間によく行った運動・スポーツ種目は、「おにごっこ」など運動あそび種目が増加
- 中学校期・高校期の運動部活動は、土日の活動日数が2017年調査より大幅に減少

公益財団法人 笹川スポーツ財団 www.ssf.or.jp お問い合わせ先: TEL03-6229-5300